

校区史の取材記録
長野忍さんの巻
 (横山)

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
 上西集落支援員
馬場 信一 編集
 連絡先090-9579-3953
 上西校区長責任発行



校区史「ふるさと上西今昔～伊勢暦～」に、全集落の知られざる過去の歴史を取り入れると面白いのではないかと考え、取材を進めています。初回は長野忍さん取材しました。今後、牧山克郎さん・松本啓恭さん(池之久保)の取材を予定しています。

<芝居のこと>

昭和32年、願成就で青年の衆が劇「うば捨て山」を発表した。アイ子姉さんが毎日のごと来てくれて、教えてくれたや。宮川理徳君が子どもん役で背負われたと一覚えとい。わざい、はずーだ(盛会だった)とや。



親子ラジオ

<放送局YRK 開始>

昭和29年長野敏兄が駐在員のときに親子ラジオを家々に付けて、横山出来事はここから放送した。機器の使い方は山本勝實さんが。放送当番は青年の衆二人。二人はえーて三人も四人も行って、夜は飲一で泊まって…。のちい大花里の関さんが個人で始めたとや。

<県共進会>

県の共進会にあ、春吉(純男さんの父)・昇・実盛・正男(孝さんの父)・友三(忍さんの父)・吉彦が毎年行ったなあ。池之久保から松本啓恭。鹿児島大学牧場が横山にあったからか、良か牛(優良な乳牛)が出たとな。多か時にやあ、牛を飼一といたあ横山で34戸やった。



<砂糖すめは自分たちで>

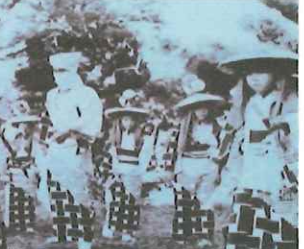
場所はおいげー(俺の家)のそこ。教員住宅んところ。今の忠の家も。勇の家、梓の家んとこ、重成げーの上。4～5人で一つ(の工場を)持ったな。税務署が来いときーにやあ畳の下なんでえ黒砂糖を隠いて。うまい具合にバレンにやったとやろーなー。(塩・焼酎と同じ専売法のしぼりがあるので税務署の査察が入った。)



発動機

<阿久根千代女「横山盆踊」のこと>

昼間に踊ったことは無かな。発表会以外はな。千代女の霊を慰める踊りやから、世上(世間)では踊らんもんやろちゅうて、昔から謂われとい。千代女の墓があるとこはおいの土地じゃのーて、代々、墓の役人をしとったから墓守をしといちゅうて「萬徳寺縁起」に書いといはず。



昭和40年ごろの踊り

(確かめると「寺役人 甚四郎」とある。初代墓守である。忍さんが6代目、友喜さんが7代目。)

砂糖すめの様子



次号「上西だより」予定

第八大成丸船祝い

花里崎大崎で実に30数年ぶり！ 8月8日に取材

あとがき

「役ばっかい持ってバキーにやあ難儀をさせたとや」と声を落とした後、酪農関係でアメリカに夫婦で旅行したことを写真を見ながら懐かしそうに話していただきました。(このような貴重な記録をデジタル化して保存します。)

